

平成25年8月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年12月27日

上場取引所 大

上場会社名 ケイティケイ株式会社
 コード番号 3035 URL <http://www.ktk.gr.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理部長
 四半期報告書提出予定日 平成24年12月28日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(氏名) 青山 英生
 (氏名) 木村 裕史

TEL 052-931-1881

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年8月期第1四半期の連結業績(平成24年8月21日～平成24年11月20日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年8月期第1四半期	2,064	—	26	—	26	—	18	—
24年8月期第1四半期	2,071	△3.9	△23	—	△24	—	△18	—

(注) 包括利益 25年8月期第1四半期 18百万円 (—%) 24年8月期第1四半期 △18百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年8月期第1四半期	4.96	—
24年8月期第1四半期	△4.97	—

当社は、平成24年8月期より決算期を毎年5月20日から毎年8月20日に変更しております。これに伴い、25年8月期第1四半期(8月21日から11月20日まで)と比較対象となる24年8月期第1四半期(5月21日から8月20日)の期間が異なるため、25年8月期第1四半期の対前年同四半期増減率については記載していません。

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率
	百万円	%	百万円	%	%
25年8月期第1四半期	4,216	—	1,954	—	46.3
24年8月期	4,101	—	1,947	—	47.5

(参考) 自己資本 25年8月期第1四半期 1,954百万円 24年8月期 1,947百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年8月期	—	4.00	—	3.00	7.00
25年8月期	—	—	—	—	—
25年8月期(予想)	—	4.00	—	4.00	8.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年8月期の連結業績予想(平成24年8月21日～平成25年8月20日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	4,172	—	15	—	15	—	15	—	3.62
通期	12,892	—	132	—	117	—	46	—	9.12

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

平成24年8月期は決算期の変更により15か月決算となっておりますので、平成25年8月期の連結業績予想の第2四半期連結累計期間及び通期の対前年増減率については記載していません。

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年8月期1Q	3,675,000 株	24年8月期	3,675,000 株
② 期末自己株式数	25年8月期1Q	37,715 株	24年8月期	37,715 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年8月期1Q	3,637,285 株	24年8月期1Q	3,637,285 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この決算短信は、金融商品取引法に基づく監査手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想につきましては、本資料の発表日現在における入手可能な情報及び将来の業績に影響を与える不確実な要因により予想数値と異なる結果となる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については四半期決算短信(添付資料)3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) セグメント情報等	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

前連結会計年度の決算期変更に伴い、当第 1 四半期累計期間は比較対象となる前第 1 四半期連結累計期間と対象期間が異なるため、対前年同四半期増減比については記載しておりません。

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

第 1 四半期連結累計期間(平成24年 8 月21日～平成24年11月20日)におけるわが国経済は、東日本大震災からの復興需要が内需を支えるものの、欧州債務問題に起因する海外経済の減速に加えて日中関係の悪化等、今後の見通しに新たな懸念材料も多く景気回復の動きに足踏み傾向がみられます。

このような中で、当社グループを取り巻く経営環境は、企業の業況感が慎重化しており、長引く景気低迷を受けてコスト削減意識も一段と高まっているため、依然厳しい状況が続いております。

これらの結果、当第 1 四半期連結累計期間の売上高は2,064百万円となりました。営業利益は26百万円、経常利益は26百万円、四半期純利益は18百万円となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

(サプライ事業)

当社グループの主力商品であるリサイクル商品(リパクトナー)は、企業における継続的な消耗品使用量の節約や経費削減を目的とするプリンター集約化並びに大手メーカーの複合機化戦略の影響を受けました。

OAサプライ商品は、インクリボンやPPC用紙、その他サプライ用品の売上高が順調に推移したものの商品群全体の売上高は低迷しました。

その他商品においては、当社独自のWeb購買システム「ケイティケイ はっするネット」の導入件数の増加により、一般事務用品などの売上高が順調に推移しました。

これらの結果、売上高は2,007百万円、セグメント利益(経常利益)は17百万円となりました。

(ソリューション事業)

クラウドの需要に支えられクラウド型メールセキュリティサービス「@Securemail」シリーズの売上高は堅調に推移したものの、ActCLOUD構築サービスにおいては前年同時期の震災後の一時的な需要増に対する反動を受けました。

これらの結果、売上高は57百万円、セグメント利益(経常利益)は9百万円となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第 1 四半期連結会計期間末における総資産は前連結会計年度末に比べ115百万円増加し、4,216百万円となりました。

流動資産は、前連結会計年度末に比べ143百万円増加し、2,464百万円となりました。これは、主に現金及び預金が31百万円、受取手形及び売掛金が106百万円増加したこと等によります。固定資産は前連結会計年度末に比べ28百万円減少し、1,752百万円となりました。これは主に投資その他の資産が25百万円減少したこと等によります。

流動負債は、前連結会計年度末に比べ117百万円増加し、2,144百万円となりました。これは、主に支払手形及び買掛金が81百万円増加したこと、賞与引当金が32百万円減少したこと等によります。固定負債は前連結会計年度末に比べ9百万円減少し、117百万円となりました。これは、主に役員退職慰労引当金が8百万円減少したこと等によります。

純資産は、前連結会計年度末に比べ7百万円増加し、1,954百万円となりました。これは、主に利益剰余金が7百万円増加したこと等によります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

今後の経済状況につきましては、欧州債務問題の長期化や日中関係の悪化など様々な景気下振れリスクを抱えつつも、海外経済の回復や継続的な復興需要に下支えされ、景気は緩やかな回復軌道へ向かうことが期待されます。

このような中での当社グループは、自社工場で生産するリサイクル商品(リパクトナー)と自社開発のWeb購買システム「ケイティケイ はっするネット」を強みとして、ドキュメントソリューションとプリンティング・コンサルティングの観点から、お客様の環境貢献とコスト削減を両立させた最適調達のご提案を推進し、収益の拡大に努めてまいります。

以上により、平成25年8月期の連結業績予想につきましては、平成24年10月4日に発表いたしました連結業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

《簡便な会計処理》

①一般債権の貸倒見積高の算定方法

当第1四半期連結会計期間末の貸倒実績率等が前連結会計年度末に算定したものと著しい変化がないと認められるため、前連結会計年度末の貸倒実績率を使用して貸倒見積高を算定しております。

②たな卸資産の評価方法

当第1四半期連結会計年度末のたな卸高の算出に関しては、実地たな卸を省略し、前連結会計年度末の実地たな卸高を基礎として合理的な方法により算出する方法によっております。

また、たな卸資産の簿価切下げに関しては、収益性の低下が明らかなものについてのみ正味売却価額を見積り、簿価切下げを行う方法によっております。

③固定資産の減価償却費の算定方法

定率法を採用している資産については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。

④経過勘定項目の算定方法

合理的な算定方法による概算額で計上する方法によっております。

⑤法人税並びに繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法

法人税等の納付額の算定に関しては、加味する加減算項目や税額控除項目を重要なものに限定する方法によっております。

繰延税金資産の回収可能性の判断については、前連結会計年度末以降に経営環境等に著しい変化が生じておらず、一時差異等の発生状況に大幅な変動がないと認められるため、前連結会計年度において使用した将来の業績予想やタックス・プランニングを利用しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年 8月20日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年11月20日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	873,625	905,473
受取手形及び売掛金	1,153,707	1,260,385
有価証券	20,984	20,988
商品及び製品	127,357	121,222
仕掛品	3,400	3,061
原材料及び貯蔵品	88,149	89,126
その他	55,507	66,599
貸倒引当金	△2,298	△2,514
流動資産合計	2,320,435	2,464,343
固定資産		
有形固定資産		
土地	863,977	863,977
その他(純額)	390,468	387,339
有形固定資産合計	1,254,446	1,251,317
無形固定資産		
その他	91,187	91,476
無形固定資産合計	91,187	91,476
投資その他の資産		
その他	438,078	412,269
貸倒引当金	△2,491	△2,614
投資その他の資産合計	435,587	409,655
固定資産合計	1,781,221	1,752,449
資産合計	4,101,656	4,216,792
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	772,354	854,273
短期借入金	963,772	945,772
未払法人税等	2,117	13,624
賞与引当金	32,413	—
その他	256,370	331,113
流動負債合計	2,027,027	2,144,783
固定負債		
長期借入金	9,216	7,773
役員退職慰労引当金	69,247	60,804
その他	48,927	49,007
固定負債合計	127,390	117,585
負債合計	2,154,418	2,262,368

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年 8 月20日)	当第 1 四半期連結会計期間 (平成24年11月20日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	294,675	294,675
資本剰余金	259,675	259,675
利益剰余金	1,412,486	1,419,651
自己株式	△20,929	△20,929
株主資本合計	1,945,907	1,953,072
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,331	1,351
その他の包括利益累計額合計	1,331	1,351
純資産合計	1,947,238	1,954,423
負債純資産合計	4,101,656	4,216,792

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第 1 四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第 1 四半期連結累計期間 (自 平成23年 5 月21日 至 平成23年 8 月20日)	当第 1 四半期連結累計期間 (自 平成24年 8 月21日 至 平成24年11月20日)
売上高	2,071,564	2,064,595
売上原価	1,542,656	1,529,533
売上総利益	528,907	535,062
販売費及び一般管理費	552,771	508,439
営業利益又は営業損失 (△)	△23,864	26,623
営業外収益		
受取利息	36	35
受取配当金	550	81
受取家賃	1,073	1,773
受取手数料	258	136
その他	1,007	975
営業外収益合計	2,926	3,003
営業外費用		
支払利息	2,698	2,607
その他	1,036	340
営業外費用合計	3,735	2,948
経常利益又は経常損失 (△)	△24,673	26,678
特別損失		
投資有価証券評価損	263	1,051
特別損失合計	263	1,051
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失 (△)	△24,936	25,626
法人税、住民税及び事業税	9,212	12,483
法人税等調整額	△16,052	△4,933
法人税等合計	△6,840	7,549
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失 (△)	△18,096	18,076
四半期純利益又は四半期純損失 (△)	△18,096	18,076

四半期連結包括利益計算書
第 1 四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第 1 四半期連結累計期間 (自 平成23年 5 月21日 至 平成23年 8 月20日)	当第 1 四半期連結累計期間 (自 平成24年 8 月21日 至 平成24年11月20日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失 (△)	△18,096	18,076
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△535	20
その他の包括利益合計	△535	20
四半期包括利益	△18,631	18,097
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△18,631	18,097
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

I 前第 1 四半期連結累計期間(自 平成23年 5 月21日 至 平成23年 8 月20日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)
	サプライ事業	ソリューション事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	2,003,273	68,290	2,071,564	—	2,071,564
セグメント間の内部売上 又は振替高	—	72	72	△72	—
計	2,003,273	68,363	2,071,636	△72	2,071,564
セグメント利益又は セグメント損失(△)	△28,025	3,352	△24,673	—	△24,673

(注) セグメント利益又はセグメント損失(△)は、四半期連結損益計算書の経常損失と調整を図っております。

II 当第 1 四半期連結累計期間(自 平成24年 8 月21日 至 平成24年11月20日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)
	サプライ事業	ソリューション事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	2,007,369	57,226	2,064,595	—	2,064,595
セグメント間の内部売上 又は振替高	—	147	147	△147	—
計	2,007,369	57,373	2,064,743	△147	2,064,595
セグメント利益	17,533	9,144	26,678	—	26,678

(注) セグメント利益は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を図っております。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。